校長室だより
No.　３１
平成 29 年 12 月８日(金)

強く　やさしく

六ツ美中部小学校校長
加　藤　嘉　一（かとう　よしかず）

マラソン大会全員出席の価値

真っ青な空の色と白っぽいかわいた土の色のコントラストが映え、最高気温が 10 度を超えない寒さであっても輝く太陽があたたかさを感じさせてくれた６日（水）。子供たちは、マラソン大会でたくさんの感動をくれました。

その一つは、全校の欠席０の日が４月から４日だけである中、このマラソン大会のあった６日は、久しぶりの欠席０人。マラソン大会というと、どうしても苦しさのある行事ですし、寒さも少しずつ厳しくなってきて体調を崩す子もいるだろうという頃です。その日に全員が出席したことは、マラソンに対して自分を鍛えようとするなど、前向きにがんばろうとする子供たちばかりだと感じたことです。それは、大会中の子供たちの表情や、走りっぷりからもよくわかりました。

三十度の熱のある日も
いどんだ　マラソンの道
人生は　マラソン
道は　果てしなく　続いている
しかも　きびしい
九九九の苦を　一つ避けても
一〇〇〇には行けぬ　マラソンの道

東井　義雄

二つ目は、順位が後ろの方になった子たちのがんばる姿です。これが最高にすばらしかった。たくさんの観衆の中、応援してくれる人たちのあたたかさは感じながら、その中を走ることをつらく感じる子もいたかもしれません。しかし、ゴールに向かう直線で見た子供たちの姿は、どのレースも最後のスパートをかけて精一杯走りきるものでした。その顔つきが実によかった。

立派な子たちでした。つらいものから逃げようと思えば逃げられることはこれからもあるでしょう。事によっては逃げた方がよいこともあるかもしれません。しかし、マラソン大会など自分との戦いになるものが、これからもたくさんあります。自分は自分を鍛える責任者です。苦から逃げず「自分はよくがんばった」この言葉を自分にかけられるがんばり

を、これからもするよう子供たちに伝えていきたいですし、がんばった友達にかける声は何がよいかを考える人になるよう指導していきたいと思います。

大会を終えた子供たちは、運動場の西に集います。そこでＰＴＡの方がふるまうお汁粉は、子供の心や中部小にあたたかさをもたらし、湯気の合間に見る子供たちのうれしそうな笑顔は、運動場に輝きを放っていました。見上げると、空の色の青さはますます増していました。

第２回学校評議員会（８日）では　－インターネットの利用について－

毎年この時期に行ってる学校評議員会は、わたしから学校運営の近況報告と、代表の子供と学校評議員会の方とで懇談会を持ちます。ここで、学校評議員の皆さんに今の子供の様子や、学校の教育活動について理解をしていただく機会としています。

本年度の子供との懇談内容は、「インターネットの利用について」としました。保護者の皆さんには、国や県、市、その他団体からのアンケートを何度も回答いただいていると思います。お手数をかけます。それだけ課題があると御理解ください。今回は、11 月に学校でとった市の学習情報部によるアンケート資料を活用し、懇談します。

【11 月６年生の集計結果抜粋】

		インターネットをどのように利用しているかについて（あてはまるものに〇）		1時間以内	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4時間以上
2	①	あなたは、1日のうちで、だいたいどれぐらいの時間、インターネットを利用していますか。		34.1%	25.0%	25.0%	9.1%	0.0%
	②	あなたは、インターネットを利用して、どんなことをしていますか。 よく使うものに〇をつけてください。 ※いくつ〇をつけてもかまいません	何かについて調べる	79.5%				
			動画をみる（YouTubeなど）	81.8%				
			ゲームをする	75.0%				
			メールやけいじ板を利用する	11.4%				
			SNSを利用する（LINEなど）	22.7%				
			その他（　　）	4.5%				

学校教育では、ＩＣＴ（情報通信技術）を活用する教育が推進されています。一方で、子供たちの生活にネット依存やネットトラブルが表出し、情報モラル教育の必要性が増してきました。情報通信の分野は、祖父母世代・保護者世代が見てきたものと比べられないほど速いスピードで変化し、予想以上に速いスピードで子供に浸透しています。わたしたちもこの分野を勉強しなければいけないというものの、あらゆる分野の情報通信技術は、想像できない世界まで広がりと細分化・特殊化を見せており、なかなかとらえきれない状況があります。

インターネットについて、今の子供たちの考えを学校評議員の方と共有したいと思います。